

vol. **04**

平成29年度 第4号
(年間4回発行 通巻第146号)

組合活性化情報 中央会とくしま

特集

四国の元気な組合を紹介します

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



組合活性化情報 中央会とくしま

vol. 04

平成29年度 第4号
(年間4回発行 通巻第146号)

特集

四国の元気な
組合を紹介します

2



株式会社 栄工製作所

8



組合ホットニュース

10

- ◎徳島県生コンクリート工業組合
徳島県と災害時連携協定を締結しました。
- ◎徳島県中古自動車販売商工組合
徳島の盲導犬を育てる会に寄付しました。



情報連絡員レポート

平成30年1月の景気動向

11



青年部コーナー

12

◎青年部活動トピックス

中央会トピックス

14

- ◎モデル組合に認定しました。
徳島県中古自動車販売商工組合
徳島県室内装飾事業協同組合
- ◎パソコン研修会開催
- ◎組合管理者講習会開催
- ◎環境経営セミナー開催



犬山城/
プリズナース

17

楽に いこう

18

「チャンクを意識して、コミュニケーションを円滑に②」

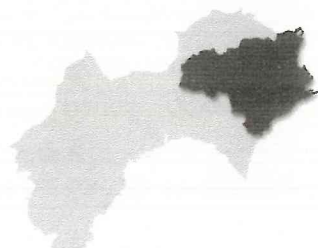


お知らせコーナー

19

- ◎平成29年度補正「ものづくり・商業・サービス経営力
向上支援事業」のご案内
- ◎生産性向上支援訓練のご案内

編/集
後記



表紙絵

作者：徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹氏

タイトル：「袋井用水の桜」

徳島市鮎喰町の袋井用水水源地です。堤防上に古い石碑が立っています。碑文には「楠藤翁頌徳之碑」の文字。江戸時代に近くにあった島田村の大地主で、袋井用水を作った楠藤吉左衛門の業績をたたえるものです。元禄年間、鮎喰町あたりにあった島田、庄、蔵本という三つの村は水の便が悪く、農地は稲作に不適でした。そこで立ち上がったのが庄屋の吉左衛門でした。私財をなげうち難工事の末、地下水脈を掘り当てました。その後、工事は子孫に引き継がれて、用水は完成し、水田は潤い、農業生産が大きく発展しました。

現在一帯は公園になっており、春になると見事な桜が咲き誇り、付近の住民の憩いの場となっています。



特集

四国の元気な組合を紹介します ～平成29年度組合資料収集加工事業から～

昭和 57 年度から全国中央会と都道府県中央会が連携し、環境変化に対応した共同事業などに先進的に取り組んでいる組合の諸事例を収集して、その活動や共同事業の手法などを他組合へ移転することを目的に、組合資料収集加工事業を実施しております。

平成 29 年度の収集テーマは、「後継者の育成 / 技術・技能の継承 / 人材確保・育成」「新たな販路開拓・市場開拓」「特徴ある活動による組織課題への対応」の3つを取り上げ、専門家の協力を得ながら詳細な調査・分析を行いました。本誌では、これらのテーマに取り組んでいる四国の先進組合事例の抄録を紹介いたします。

A 後継者の育成 / 技術・技能の継承 / 人材確保・育成

徳島県中古自動車販売商工組合（徳島県）

■住 所	徳島県徳島市応神町応神産業団地1番13	■電 話	088-641-3399
■設 立	昭和63年 7 月	■組合員数	43人
■出 資 金	20,820千円	■主な業種	中古自動車販売業

キャッチ フレーズ

多彩な研修で、中古自動車の仕入れからアフターフォローまで一貫して行える人材を育成

事業・活動実現の キーファクター

同業者組織であるため、共通課題を研修テーマとしやすい利点があり、研修を重ねることで、今必要な次の研修テーマが把握できるという好循環がみられる。

1. 背景と目的

お客様が中古自動車を選ぶ場合、価格、品質、自分のライフスタイルに合うか等の悩みや不安を多く耳にする。価値観が多様化した現在、自動車メーカーの枠を超え数多くの車を取り扱い、車種ごとの特徴や使い勝手等を充分把握し、お客様の立場に立ち、要望に合わせた最適な一台を提案できる知識や技能を取得することが、必要不可欠となっている。

2. 事業・活動の内容

中古自動車は、年式や使用状況により車1台1台の状態が異なるため、仕入れに際して高い専門性が要求される。また、お客様にとっても商品選択が難しいため、販売やアフターフォローの際にお客様とのコミュニケーションが大変重要となる。そこで、毎年「古物管理者講習会」を開催し、集合研修による継続的な専門知識の習得を行うとともに、「CS研修」「お客様からのクレーム対応研修」などを開催することで、コミュニケーション能力・マナー・営業スキルの向上を図り、経営者と従業員の更なる資質の向上を目指す取組みを行っている。

さらに、「中古自動車販売士試験研修」や「女性スタッフ向けフロント業務入門セミナー」など専門性の高い多岐にわたる研修会を実施している。これらの研修会のテーマは、組合員からの要望を事務局が集め、迅速に企画・実施につなげている。組合内の研修は、出席者が固定しやすい傾向もあるため、新

たに出席する組合員を増やす取組みとして、役員による連絡網での直接の呼びかけを行っており、出席者も徐々に増えてきている。

さらに青年部が中心となった研修会の企画も増えており、組合の将来を担う若手組合員による活動も活性化しており、今後の活躍が期待される。

3. 成 果

様々な専門研修を開催し、多くの組合員が参加することにより、お客さまへのサービスの向上及び公正な流通や消費者利益の保護など業界の健全化を図り、信頼される販売店づくりを実現させている。さらに後継者の育成、技術の継承にも繋がっており、設立の目的である業界のより良い発展の精神が次の世代へ確実に受け継がれている。



研修会の様子



真剣に研修に取り組む組合員の様子

愛媛県鉄筋業協同組合（愛媛県）

■住 所 愛媛県松山市南久米町679番地
■設 立 昭和50年5月
■出 資 金 2,080千円

■電 話 089-984-3882
■組合員数 19人
■主な業種 鉄筋工事業

キャッチ
フレーズ

出前講座による
若手人材の確保
と組合員のスキル
向上

事業・活動実現の
キーファクター

- ①上位団体である全国鉄筋工事業協会に加盟する他団体の協力を得られたこと。
- ②学校側の職業教育におけるニーズに合致したこと。

1. 背景と目的

鉄筋工事は、高校生・大学生に限らず、世間一般にほとんど理解されておらず、認知もされていない。今後、鉄筋業界が持続的に発展していくためには、まず、鉄筋工事について知ってもらうことが必要だと考え、地元学校の生徒に対して鉄筋工事業の仕事内容の説明や組立実習を行う出前講座を実践しようと考えた。

2. 事業・活動の内容

上位団体である全国鉄筋工事業協会の会議に参加した際、関西鉄筋工業協同組合で鉄筋工事の役割や重要性をアピールするための広報活動の一環として出前講座を実践していることを知り、理事長を含めた4名の理事が当講座の視察を行い、カリキュラムや運営方法について学んだ。

出前講座のカリキュラムの内容については、全国鉄筋工事業協会に加盟する他団体の協力を得て作成した。基礎講座では、鉄筋についての基本的な内容をパワーポイントやDVDを活用し伝え、建物などの中に隠されている姿をプロジェクターで見てもらい、鉄筋にどのような意味があるのかを知ってもらう内容となっている。実践講座では職人の技術を間近で見ることができ、また、鉄筋の組立作業を体験することで鉄筋に対する理解と建築物の躯体に係る技術を学ぶ内容となっている。

実践講座では受講生を班分けし、講師を複数名配置し指導する体制をとる必要があったが、理事会において本事業の趣旨と目的を説明し、



出前講座（鉄筋組立実習風景）



出前講座（座学）

理解を得られたことで、組合員の積極的な参加協力を募ることができ、出前講座を開催できる運びとなった。近年、出前講座の開催回数が増えており、組合員の講師負担が増大していたが、当組合における青年部の確立により、親会中心であった講師要員を青年部からも確保できるようになった。

3. 成 果

在学中の職業教育が重要視される中、出前講座が学校側のニーズに合致したことで、出前講座を開催する学校は徐々に広がりを見せている。今のところ組合企業への入職には繋がっていないが、進路選択の一つとして提案できている実感はある。また、講師を担う組合員のプレゼン能力や技術伝承スキルが向上し、本業の場で成果が出始めている。

B 新たな販路開拓・市場開拓

三豊市上下水道工事業協同組合（香川県）

■住 所	香川県三豊市豊中町本山甲1810番地1	■電 話	0875-62-6561
■設 立	平成18年9月	■組合員数	52人
■出 資 金	2,600千円	■主な業種	上水道業、下水道業

キャッチ
フレーズ

水道事業の利便性向上を
追求し、事業の理解促進
を図る

事業・活動実現の
キーファクター

行政からの業務委託ではあるものの、市民の側に立った視点を常に持ち続けることで、現場対応業務の迅速化を図り、また、水道料金収納率の向上を図っている。

1. 背景と目的

平成18年の三豊市合併と同時に事業協同組合を設立し、当初より、三豊市水道局より水道修繕業務を受注している。以後、同組合は一貫して「市民サービスの向上を図る」ことを念頭に業務を行ってきた。一方、近年は自治体が担っている水道料金関連業務を外部委託する事例が全国的に増加しているなか、三豊市でも平成24年から外部委託を検討するに至った。

2. 事業・活動の内容

仮に水道料金関連業務を全国展開する大手企業に委託されたら、同組合が受注してきた水道修繕業務への影響も避けられず、このことは傘下の組合員にとっても、さらには市民にとっても、好影響があるとは言い難い。そこで同組合は、外部委託の決定時期に先立つ平成22年より職員を三豊市水道局へ出向させ、水道料金関連の業務内容を実地で理解・習得させることにした。このことにより、地域の実情に合った業務内容の詳細について、きめ細かい提案をできるようになった。そして、市内の地理を熟知したスタッフや組合員の連携により、トラブルにも24時間365日対応可能とするとともに、水道料金徴収業務のみならず、施設や修繕業務の水道関連事業全般において市民に信頼と安全を提供できる体制を整えるなど、大手企業に勝る内容の提案を行い、無事、水道料金関連業務の受託をすることに成功した。以後、「三豊市水道局料金センター」を開設し、水道修繕業務と水道料金関連業務を包括的に手がけることで、市民の満足度を向上させるサービス提供ができるようになった。

いざ事業を開始してみると、長期にわたる水道料金滞納者から支払を受けるのは実に困難であることが判明した。そこで、支払意識を持ってもらうために月に一度の停水執行や支払後の速やかな解除、さらには停水予告通知を出したり、誓



料金センター



料金センター

約書の書き直しなどを行ってもらった等のきめ細かい対応を積み重ねている。

3. 成 果

市民サービス向上の一環として、検針員に「認知症サポーター養成講座」を受講させ、検針業務で家庭を訪問した際に子供や一人暮らし高齢者の見守りなどを行っている。また、市民の水道事業への理解を促進する機会としての「みとよ水フェスタ」は、水道局、組合事務局、組合員が力を合わせてイベントを盛り上げ、毎年大盛況となっている。市民サービスの向上を目に見えるカタチにすることも重要である。

四国珍味商工協同組合（愛媛県）

■住 所 愛媛県伊予郡松前町筒井1320-10
■設 立 昭和40年4月
■出 資 金 1,500千円

■電 話 089-984-7814
■組合員数 25人
■主な業種 珍味加工販売業

キャッチ
フレーズ

「せとうち IRICO
生活」ブランド化
による販路開拓

事業・活動実現の
キーファクター

販路開拓という出口を意識してブランド化と商品開発に取り組んだことや、組合員企業が相互に知恵を出し刺激し合える仕組みを構築したことが、結果的に売上の拡大に寄与した。

1. 背景と目的

水産加工食品の国内需要が減少する中、当組合の珍味加工販売を取り巻く経営環境も年々厳しさを増していた。昔ながらの酒肴としての珍味需要が減退し、代わって「ふりかけ・みそ汁の具」といった食事需要が伸長するなど、消費者ニーズの多様化を背景に、商品開発・販路開拓の両面で新たな取り組みが求められていた。

2. 事業・活動の内容

商品面の強化を図るべく、地産珍味のブランド化に向けて当組合を主体とするプロジェクトチームを組織した。チームにはブランド及びデザインのノウハウが豊富な外部専門家を招聘し、総合プロデュースを委託することでスムーズなブランド化を実現した。瀬戸内産の安全・安心で上質なイリコにこだわった独自ブランド「せとうち IRICO 生活」を立ち上げ、組合員企業の参画を促して商品開発を行った。具体的には、産地、添加物のほか、味、斬新さ、アイデア力、容量・サイズ等の項目において高評価を得た商品の上に認定ラベルを付与するなど厳しいブランド認定基準を定め、組合員企業同士の意見交換や相互品評の仕組みを作り、組織一丸となって商品力を強化した。また販路面では、ブランド立ち上げ直後より国内大規模展示会を中心に積極出展し、大手スーパーほかバイヤーとのネットワーク構築に成功した。

なお、当地の公益財団法人えひめ産業振興財団による「活力創出助成事業」に採択されたことも、資金面・計画面のみならず、組織の合意形成面でも有効に機能したと考えられる。

こうしたブランド化の取り組みでは（ブランドの）訴求力低下や陳腐化が課題となるが、当組合では現在も新商品開発点数・展示会出展回数等の年間目標数値を定め、定量・定性の両面からブランド価値を継続的に高めるための活動を続けている。



ブランド認定商品
「せとうち IRICO 生活」(一部)



「せとうち IRICO 生活」
大型展示会への出展

3. 成 果

商品・販路の両面をバランス良く強化したことが成功の一因と考えら

れる。生産者主体のブランド戦略では、ともすれば品質や製法など製造面に着目した商品開発に偏りがちだが、当事業では展示会出展ほか販路を意識した戦略的商品開発の結果、新たなバイヤーとの新販路獲得に成功し、組合員企業の売上拡大に繋がった。

高知県酒造組合（高知県）

■住 所 高知県高知市廿代町15番1号
■設 立 昭和28年11月
■出 資 金 —

■電 話 088-823-3558
■組合員数 18人
■主な業種 酒造業

キャッチ
フレーズ

「TOSA NAKAMA
SAKE」をコンセプト
に土佐のお酒を世界へ
発信

事業・活動実現の
キーファクター

組合だけでなく、行政、公設試、支援機関、
生産者団体等も含めた信頼関係に基づく
強い連携体制を構築できたことが事業・
活動実現のキーファクターとなっている。

1. 背景と目的

高知県は全国的に見ても品質の高い日本酒を生産する酒どころであるにも関わらず、一般消費者にその印象が十分伝わっていないことが長年の課題であった。そこで、「土佐酒」の高い品質と特徴ある酒質、その背景にある食文化を一体的に伝え、「土佐酒」のイメージを世界に向けて浸透させることを目的にブランド化に取り組むこととした。

2. 事業・活動の内容

平成28年5月、当組合を中心に、行政、公設試、県貿易協会、全農、中央会等で構成する「土佐酒振興プラットフォーム（PF）」を立ち上げ、これを母体に酒米生産から国内外販路開拓までの取り組みを一体的に管理する仕組みを構築した。同PF内に酒米部会、販売・輸出部会を設け、それぞれ県及び中央会職員が事務局として取り組みを推進。販売・輸出部会の取り組みとして、中央会専門家派遣事業を活用し、ブランド化に向けた意識の醸成を図るためのセミナー開催や専門家をコーディネート役としたワークショップ等を行いブランドコンセプトの原案を取りまとめた。

平成29年度には、これをベースとして継続的に検討を進め、最終的にブランドコンセプトを「TOSA NAKAMA SAKE」と決定。同年7月、東京・赤坂のレストランにおいて、土佐酒ブランドコンセプト「TOSA NAKAMA SAKE」を発表するイベントを開催、さらに同年9月には、当年で3年目となる欧州でのプロモーションイベントにおいて海外での発表を行い、両会場とも来場者から好感触を得ることができた。

今後は、この「土佐酒」ブランドを浸透させていくため、実施体制を明確化したうえで中長期での取り組み計画を策定し、ブラッシュアップを行いながらプロモーション活動を継続・発展させていく予定である。

3. 成 果

組合員の中で漠然と共有されてきた「土佐酒」のイメージを明確化することで、キャッチコピーやデザインとして落とし込むことができ、ブランドとして世の中に認知させていくためのインパクトのあるプロモーションが可能になった。組合だけでは困難なテーマに取り組むことができたのは、組合内だけでなく、行政や関係団体等も含めた連携体制を構築できたことが最大の要因である。



「TOSA NAKAMA SAKE」
の取り組みをPRするポスター



酒 は 土 佐 酒
NAKAMA ぜよ!!

ロゴマーク

C 特徴ある活動による組織課題への対応

丸亀市中央商店街振興組合連合会（香川県）

■住 所 香川県丸亀市通町18番地1
■設 立 昭和62年12月
■出 資 金 2,000千円

■電 話 0877-25-0645
■組合員数 4人
■主な業種 商店街振興組合

キャッチ
フレーズ

FACE21を拠点に、商店街振興事業をサポートする。

事業・活動実現の
キーファクター

FACE21 運営協議会の構成メンバーとして丸亀市や丸亀商工会議所も加わっており、中心商店街の振興について、同じ方向を向いて努力を重ねることが出来る。

1. 背景と目的

丸亀市の中心街に立地する各商店街は、モータリゼーションの進展、郊外への大型店出店とともに衰退し、買い回り店が多かった店舗構成もあり、近年は往時の賑わいが失われている状況にある。これを少しでも好転させようと、文化や教育・福祉についての情報発信を行うべく「スペース114」が開設されていたが、施設の老朽化・耐震問題のため、昨年12月に閉鎖された。そこで、スペース114の担っていた役割に加えて、産業・観光振興も目的とした施設として、平成29年4月に「FACE21」がオープンした。なお、そのネーミングは、地元出身の芸術家猪熊弦一郎の「Face（顔）」シリーズに由来する。

2. 事業・活動の内容

丸亀市中央商店街振興組合連合会、丸亀市、丸亀商工会議所が平成29年1月に「FACE21 運営協議会」を発足させ、以後、運営を行っている。広さ38平米の施設内に4人掛けテーブルを2つ配置し、タブレット端末2基とWi-Fiを整備している。

主な活動内容は「よろず相談事業（空き店舗対策）」、「インバウンド（訪日外国人旅行）対策事業」、「まちなかサロン事業」であり、地域住民にも概ね好意的に捉えられている。ただし、全般的に知名度が今ひとつのように感じられるため、まずは知名度向上のための仕掛けを模索中である。地域住民や観光客に地道にアピールするとともに、最寄りの「猪熊弦一郎現代美術館」とのコラボレーションも考えている。

3. 成 果

開設して半年ほど経過したが、「よろず相談事業（空き店舗対策）」については、パン屋等5件ほどの開業を支援できた。「インバウンド（訪日外国人旅行）対策事業」については、最近、丸亀にも外国人旅行者が増加しており、順調に対応できている。「まちなかサロン事業」については、高校生や高齢者の利用が増えている。

FACE21 運営協議会といっても、ほとんどの構成メンバーが地元育ちであるため、堅苦しくなく、本音で討議できる間柄である。そのため、自由に意見を言い合うことができ、フレキシブルに今後の事業展開も行うことができると考えている。



FACE21



タブレット端末設置



株式会社栄工製作所

中央会の助成事業である「ものづくり中小企業支援事業」に採択された県内中小企業の皆様を「ものづくりトップランナー」としてご紹介するコーナーを平成 27 年度より設けています。

第 12 回目は「円筒研削工程の内製化による精密ステンレス部品の一貫生産体制の確立（平成 25 年度）」をテーマに取り組みされた株式会社栄工製作所様をご紹介します。

同社は、ステンレス鋼やチタン合金等の特殊材料の一貫加工を主に、最近では農業機械・食品機械の開発まで活躍の場を拡げており、お客様から大きな信頼を獲得されている注目の企業です。この度は、開発の中心的役割を担われてきた仲西栄吉会長と仲西智社長のお二人にお話を伺いました。

1 御社の沿革、特にステンレス鋼材の加工をメインに取り組まれることになった経緯をお聞かせください。

弊社は私（会長）が昭和 57 年に両親の介護のため、食品加工機械メーカーを退職したのを機に、夫婦二人三脚で事業を始めました。

創業当時は食品機械の配管の溶接やバフ研磨など、注文して頂けるものは何でもやりました。その後、ステンレス鋼材の加工に取り組むようになったきっかけは、競争相手が多い一般鋼材、アルミ合金等の加工より、当時は難削材と言われていたステンレス鋼材に特化した方が、メリットが大きいと考えたからです。

創業から 36 年間、技術向上・コスト低減をモットーに、数多くの難削材の切削・研削にチャレンジし、データとノウハウを蓄積してまいりました。

具体的には、食品機械部品及び化学機械部品等、サニタリの切削（旋削、フライス加工）・溶接・研磨までの一貫加工から配管工事まで取り組んでいます。最近では、さらに難度の高いチタン・インコネル・ハステロイなどの耐熱合金の加工にも力を入れています。

さらに、大量生産はもちろん多品種・少量生産における NC・MC 機等を用いた自動化、省力化により、幅広いユーザーの皆様の御要望にお応えできるよう、設備の充実と人材力の強化を図っております。



仲西栄吉会長と仲西智社長

2 食品事業部としてセルフうどん「和あさん」を開業するとともに、ISO9001 を認証取得されました。これらのきっかけについてお聞かせください。

私（会長）が幼少の頃、香川県出身の父が行事のある度に、手打ちのうどんを作り、家族や近所の人たちに振舞ってくれました。そんな影響もあって、いつか自分のこだわりが詰まったうどん店を出して社員を喜ばせたいとずっと思っていたところ、美味しいうどん店とのご縁ができました。それをきっかけに、製麺機械を購入することになり、納得のいくうどん作りのために娘と一緒に研究を重ね、出店するに至りました。今では、うどんのみならず、無添加の惣菜も人気メニューになり、社員だけでなく一般の方々が和あさんのうどんや惣菜を求めて、食べに来てくれるようになりました。本当に嬉しい限りです。

ISO9001 の取得については、弊社のステンレス鋼材を扱ったものづくりの技術に高い評価を頂いているものの、「井の中の蛙ではいけない」と思い、国際規格である ISO9001 を取得し、厳しい品質保証をすることでお客様の信頼をより得るためにトライしました。



セルフうどん「和あさん」

3 平成 25 年度に「円筒研削工程の内製化による精密ステンレス部品の一貫生産体制の確立」と題したテーマでものづくり事業に挑戦されました。研削加工という少し内容の異なる事業を取り上げるきっかけとその成果についてお聞かせください。

弊社では、顧客からの設計図面に従い、材料

仕入れ・切断・旋削加工・溶接・研磨までのすべての加工を自社で一貫生産しています。

中でも旋削加工よりワンランク上の高精度なものづくりが能率よくできれば、顧客からの信頼が向上するだけでなく、納期短縮やコスト削減に繋がると思い、研削加工に挑戦しました。



高性能 CNC 円筒研削盤

その結果、納期短縮、ランニングコストの削減に留まらず、品質の向上や新規顧客の獲得にも繋がりました。

4 企業は“人”が基本と言われます。御社が心がけている人材育成についてお聞かせください。

社員には「自主性が高いものづくり」を心がけて欲しいと願い、そのような環境を提供することを意識しています。また、仕事ができるだけでなく、挨拶、身なり、行動などについても、「さすが栄工製作所の社員ですね」と言って頂けるような社員像を目標にしています。今後、社員には自分が持っている技術を最大限に生かし、日々の仕事に取り組んでもらいたいと思っています。



工場外観

5 金属加工業界や御社の将来の展望をお聞かせください。

ステンレス鋼材の加工を柱に、今まで培ってきた技術を活かし、チタン、インコネル、ハステロイのような耐熱合金、そしてCFRP¹⁾、CNF²⁾のような複合材料を活用できるオンライン企業にしたいと考えています。

さらに色々な形で、地域社会に貢献できる企業になるために、数年前に農業者と連携して「ハスの実殻剥き機」を開発しました。この開発により今まで破棄されていたハスの実の利用が可能になり、新しい市場の開拓にも挑んでいます。また直近では、米ゲルを作るためのフードプロセッサの開発にも取り組んでいます。

今後も、若いエネルギーと蓄積された英知を結集させ、全社員が一丸となって、安定した価格、できるだけ安価なものづくりを目標に、高品質、低コスト、短納期を常に意識し、改善を続け、顧客となお一層の信頼関係を築いていく努力をして参ります。

金属加工は3Kと言われる厳しい業界です。しかし、日々研鑽に努めることで色々な技術を習得することができ、製造した部品をお客様から高く評価していただけることが私たちの誇りです。地に足をつけ少しずつでも諦めずに前に進んでいくことが、今まで支えていただいた方々やお客様への恩返しになると信じて、引き続き精進していきたいと考えています。

- 1) Carbon Fiber Reinforced Plastic (CFRP)
炭素繊維をプラスチックで固めた複合材料
- 2) Cellulose Nanofiber (CNF)
木材などの植物繊維をナノレベルまでほぐした素材

【今回取材を通して】

「創業当時から、家族・社員で力を合わせてとにかく必死に仕事をしてきた。」誠実に取り組んでいたら、いいことがある」という信念で、まじめに挑戦し続けた結果が現在に繋がっている。苦しい時期もあったが、諦めずに続けてこられたのは、ご縁や巡り合わせのおかげ。沢山の方々との出会いに心から感謝している。」と感慨深く語ってくださった会長の一言一言に重みと説得力を感じました。

また、「実験を重ねて改良していくことは労力がかかり大変な作業を伴うが、自社製品でお客様に喜んで頂けることが、やりがいに繋がっている」とお聞きし、技術を表現する喜びといった「ものづくりの原点」を追求する姿勢に対し、非常に感銘を受けました。

これからもステンレス加工を中心に、機械の開発、新しい市場開拓へ挑戦し続け、ものづくりの素晴らしさを通して、顧客に感動を与えていけることと思います。今後益々のご発展を祈念しております。

仲西会長、仲西社長、この度はお忙しい中ありがとうございました。

企業の概要

○会社名	株式会社栄工製作所
○所在地	徳島県美馬市脇町字北星 161-3
○電話	0883-53-8746
○FAX	0883-52-5224
○E-mail	info@sus-eiko.co.jp
○代表取締役社長	仲西 智
○設立年月日	1982年5月
○従業員数	71名
○事業内容	金属製品製造業
○資本金	1,000万円



組合ホットニュース

徳島県と「災害時等における消防用水の確保に関する協定」を締結しました。 ～徳島県生コンクリート 工業組合～

平成 30 年 1 月 17 日(水)徳島県庁にて、徳島県と当組合は「災害時等における消防用水の確保に関する協定」を結びました。締結式では、飯泉嘉門徳島県知事と当組合の坂東寛司理事長が協定書に署名を行いました。

当組合に加盟する 53 社は、約 300 台のミキサー車を持っており、地震に伴う大規模火災などが起きた際、消防本部から協力要請を受けた組合が加盟事業者に派遣を依頼、指定された場所に消防用水を供給し、継続した消火体制を確保することになります。平成 28 年 12 月、新潟県糸魚川市で発生した大火災が起きた際、新潟県内の生コンクリート製造業者らが保有するコンクリートミキサー車を使い、現場に消火用水を供給し消火活動に貢献したことから、全国的に協定の締結が進んでいます。坂東理事長は「地域に密着した業界として、組合を挙げて貢献していきたい」と述べられました。



締結式の様子



左から 徳島県生コンクリート(工)横手理事
徳島県知事 飯泉嘉門氏
徳島県生コンクリート(工)坂東理事長
徳島県生コンクリート(工)下村事務局長

「徳島の盲導犬を育てる会」に寄付しました。 ～徳島県中古自動車販売商工組合～

平成 30 年 3 月 2 日(金)、徳島市の組合会議室において、当組合と徳島県中古自動車販売店協会の 2 団体は、「徳島の盲導犬を育てる会」に 20 万円を寄付しました。平成 27 年 10 月、徳島市で警報音を鳴らさずに後進してきたダンプカーにはねられ、視覚障害者の山橋さんと連れ添っていた盲導犬が巻き添えになった事故を受け、このような悲惨な事故が二度と起きないようにと、徳島県では平成 27 年、後退時の警報ブザーが付いた車に使用を義務付ける初の条例が制定されました。

この寄付金は、昨年 12 月 1 日に開催された「JU 徳島チャリティボウリング大会」の参加費の一部を使って、盲導犬の育成や視覚障害者が安心して歩ける環境づくりに役立ててもらおうと、当組合は平成 28 年から毎年寄付しています。



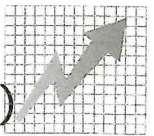
感謝状が贈呈される様子



左から 徳島の盲導犬を育てる会 竹内理事長
徳島県中古自動車販売(商) 多田理事長
徳島県中古自動車販売(商) 青年部大西会長
徳島県中古自動車販売(商) 青年部多田顧問

平成30年1月

情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

《全体の景況》

板金工事業においては受注量が総じて順調、味噌製造業では生産量、出荷量が大幅に増加、家電製品小売業においても季節商品の動きが活発であるとの明るい声が寄せられた。

その一方で、1月は寒波や積雪の影響で売上の伸び悩みに嘆く声が寄せられた。また、依然として続く労働力不足をはじめ、原材料高や軽油価格の上昇も懸念材料となっている。

景気は回復が続いていると言われているものの、日経平均株価は年初来の好調から一転して約2年ぶりの下落率(8%安)を記録する等、依然として不安定な値動きが続いている。更に緊迫する国際情勢が国内外経済の下振れリスクを残存させており、先行き不透明な状況に変わりはない。県内中小企業においても、今後の景気動向を注視していく必要がある。

《製造業》

<食料品>

【味噌】生産量、出荷量は対前月比150%と大幅に増加。一方、主要原材料である米の価格は上昇傾向が続いている。

<繊維・同製品>

【縫製】売上高不変。収益状況不変。各社とも人材不足で困っている。人手不足を研修生でカバーしているのが現状である。

<木材・木製品>

【製材】山間部の積雪の影響で、原木調達に苦心している。

【製材】天候不順による出材不足と輸入材の原木高により仕入困難な状況が続いている。

【木材】依然として、原木丸太出材量は非常に少ない状況が続いている。引き合いは旺盛で、価格も上昇しているが売上は伸びてこない。

【木材】現在、山から搬出される原木の量が少なく、需要と供給が一致していない。

<印刷>

【印刷】対前年比での受注量減少や定期刊行物減少が目立ってきている。

【印刷】昨年暮れから徳島県内における受注が減少傾向にあり、1月の業況は良くないという声が多く聞かれた。ここ数年で就業者数は少し減少したようだが、まだ供給過多の状況は変わらない。

<窯業・土石製品>

【生コン】出荷量は、正月休みや寒波に見舞われたことも影響し昨年同月比減少。

【生コン】出荷量は、対前年同月比9%の減少となった。要因としては、前年同時期と比較して新設工事が少なかった事が影響している。

<鉄鋼・金属>

【鉄鋼】売上高、設備操業度とも総じて横這い状況にある。しかし、人材の確保に相変わらず苦慮している。

【ステンレス】売上高不変。収益状況不変。現在のところ直接的な影響はないものの、海外の不安定な情勢が懸念される。

<一般機器>

【機械金属】売上高や収益状況など良好な水準を維持しているものの、従業員の確保難、原材料価格の上昇等が経営上の課題として見受けられる。

《非製造業》

<卸売業>

【食糧卸】売上高不変。収益状況不変。原価の上昇が続いており、収益状況の好転に結びつかない。

<小売業>

【機械器具】売上高増加。収益状況好転。季節商材の意味合いの強い自転車であるため、これからの天候次第で活況になる。

【ショッピングセンター】売上高は全店計95.4%(既存店97.1%)と前年を割った。1月中旬に介護施設がオープン。介護施設のオープンをきっかけに、当ショッピングセンターが更に地域に貢献していきたいと考えている。

【プロパンガス】例年より、凍結による給湯機器の破損、故障による修理、交換依頼が多い。

【電気機器】暖房機器の買換え需要は順調。しかし、4K、8Kテレビ等の家電映像関連機器の買換え需要は起きていない。

【量小売業】1月中旬の寒波の影響で、一般家庭の仕事が減少。消費マインドは冷え込むばかりである。

<商店街>

【徳島市】例年にない低温状態が続く、商店街は客足が鈍く、セール・売り出しにも影響が出ている。

【徳島市】寒さの影響なのか、客足が鈍いと感じる。

【阿南市】1店舗が閉店。だんだんと寂しい商店街になってきている。

<サービス業>

【土木建築業】工事内容により、工事件数が多くあったり、来年度の事業計画を前倒して作業している為多忙である。

【自動車整備】登録自動車(普通車)の新車登録台数は対前年同月比-11.0%の1,469台、中古車は+1.9%の385台、合計では-8.6%の1,854台であった。軽自動車の新車登録台数は対前年同月比+6.4%の1,202台、中古車+10.7%の373台、合計は+7.4%の1,575台である。登録自動車(普通車)・軽自動車の登録台数合計は対前年同月比-1.9%の3,429台と微減。また点検整備などのサービスに関する収益状況においても、普通車は12%の減少となった。

【旅行業】1月は寒さが厳しかった為、客足も鈍ったようだ。

<建設業>

【建設業】相変わらず公共工事の発注が遅れており、県下全域で受注量が減少。社会資本整備の必要性から、徳島県へ予算増額を要望。その結果、徳島県からは今年度の補正予算を含めた14ヶ月予算で約100億円の増額を示している。

【解体工事業】民間戸建住宅解体工事発注が減少傾向となっている。

【鉄骨・鉄筋工事業】年が明け、設備操業度が若干低下した工場も見られた。

【板金工事業】仕事の受注は順調であるようだ。

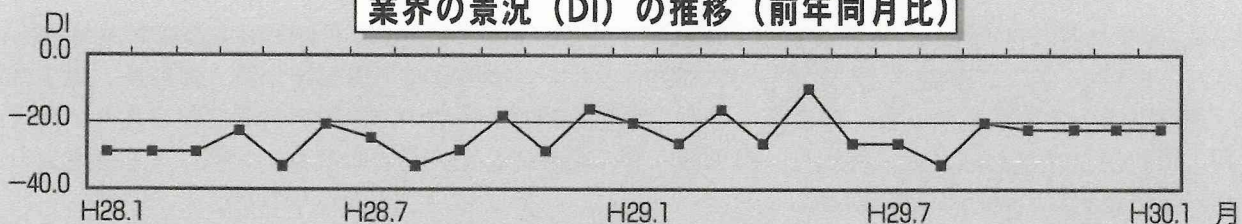
【電気工事業】新設住宅口数は221件であり、対前年比81.2%と大幅に減少した。

<運輸業>

【貨物運送業】1月は営業日数少なく低調であるが、今月は特に野菜が昨年末よりの天候不順や今月の異常低温等により、荷動きが少なく低調に推移。また、軽油価格は前月平均より約4円弱の上昇となり、利益確保が難しくなりつつある。

【貨物運送業】燃料価格が上昇し、コストがかさんでいる。また、売上高が減少したと答えた事業者が以前より増えた。

業界の景況(DI)の推移(前年同月比)



※ DI 値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値



青年部コーナー

青年部活動トピックス

◇平成 29 年度 組合青年部リーダー交流会議の開催◇

平成 30 年 2 月 6 日(火)サンシャイン徳島アネックスにおいて、平成 29 年度 組合青年部リーダー交流会議を開催しました。ロジカルマネジメント 代表 岩城博之氏を講師に招き、「経営に大切な 3 つのこと」をテーマにご講演いただきました。参加者 32 名の中、岩城氏より以下の説明がありました。

講演概要

- リーダーがすべきこととしては模範を示す、褒める、責任・権限を与える、挑戦できる環境をつくる等のテクニックを利用するよりも、ビジョンを示すことが重要である。
- 「経営に大切な 3 つのこと」は以下の通りである。
 - ①ゴールから考える（着地地点はどこなのかを明確にし、逆算する）
 - ②全体像から考える（目先のことばかりにとらわれず、1 歩下がって全体を見る）
 - ③シンプルに考える（考えすぎない。シンプルに強みの一点集中）
- 「モチベーションの概要」は以下の通りである。
 - ・内発的な人は、仕事を成長するための過程と考える。ボランティアにも積極的に参加し楽しいと思う人である。
 - ・内発的な人に外発的行動を働きかけてはいけない。例えば、毎日内発的な人に仕事頑張っているから 1,000 円を与えると、3ヶ月続き、3ヶ月後与えなくなった時「なぜ 1,000 円くれないの」と思うようになり、くれないと仕事がばからしくなる。
 - ・外発的な人は、仕事は苦痛と考える。給料のために仕方なく仕事をしている。
 - ・人はタイプ別に分けることができる。積極的、協調的、堅実的、自律的に分けることができる。



ロジカルマネジメント 代表
岩城博之氏の講演



◇平成 29 年度 新年互礼会◇

平成 30 年 2 月 6 日(火)サンシャイン徳島アネックスにおいて、平成 29 年度青年中央会新年互礼会が開催され、総勢 44 名にご参加いただきました。ご来賓として、徳島県商工労働観光部 副部長 黒下耕司様、徳島県中小企業団体中央会 副会長 平石元治様を始め、多数のご来賓の皆様をお迎えし、株式会社商工組合中央金庫徳島支店 支店長 君塚浩二様に乾杯のご発声をいただき、今年の青年中央会の活動への期待を込めて乾杯となりました。

最後に、徳島県中央テクノスクール 校長 奈須善彦様より中締めをしていただき、盛会のうちに閉会となりました。



新年互礼会 全景



県商工労働観光部 副部長
黒下耕司様（来賓挨拶）



商工組合中央金庫 支店長
君塚浩二様（乾杯）



テクノスクール 校長
奈須善彦様（中締め）

◇平成 29 年度四国ブロック中小企業青年中央会 会長会議の開催◇

平成 30 年 2 月 20 日(火)、JR ホテルクレメント徳島において、平成 29 年度四国ブロック中小企業青年中央会会長会議が開催され、参加者 14 名の中、以下の各提出議案を審議し、原案通り承認・決定されました。

- ①全国中小企業青年中央会役員会 協議内容報告について
- ②輪番制について
- ③全国中小企業青年中央会通常総会（徳島県開催）について
- ④平成 29 年度四国ブロック中小企業青年中央会の決算について
- ⑤四国ブロック中小企業青年中央会の旅費規程について
- ⑥その他

四国ブロック会長会議後は、懇親会を開催し、青年部員間の交流・懇親の場となりました。



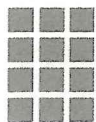
四国ブロック会長会議



四国ブロック懇親会

★今後のスケジュール★

○平成30年4月18日
平成30年度 第1回 役員会



中央会トピックス

モデル組合に認定しました。

～徳島県中古自動車販売商工組合・徳島県室内装飾事業協同組合～

本会では、他の模範となる中小企業組合をモデル組合として認定し、その優れた共同事業運営の仕組みを県内各組合で共有化することで、県内中小企業の組織化推進、県内組合のレベルアップを図るため、モデル組合認定支援事業を実施しています。

“モデル組合”の要件

本会会員組合であって、次の①～⑩のすべてを満たす組合です。

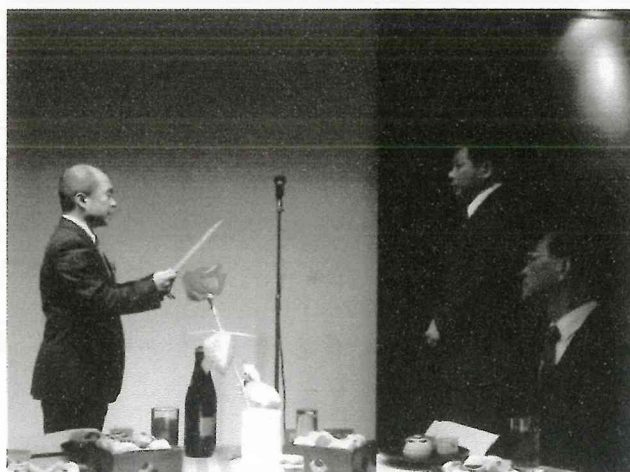
- ① 組合設立後 15 年以上経過していること。
- ② 組合の事業運営、組織運営が適切で、かつ財務内容が堅実であること。
- ③ 組合の事業が組合員の利用状況、事業規模の拡大状況等からみて活発に行われていること。
- ④ 専従役員が 1 名以上いること又はそれと同等の事務処理が可能な体制となっていること。
- ⑤ 中央会の指導を受けていること。
- ⑥ 根拠法、その他の法令に違反していないこと。
- ⑦ 定款が法令に違反していないこと。
- ⑧ 事業報告書、決算関係書類の作成方法等が法令に違反していないこと。
- ⑨ 過去 3 年間の決算において、連続して当期損失を計上していないこと。
- ⑩ 直近決算において、差引正味財産が出資額を下回っていないこと。

平成 29 年度 “モデル組合” 認定！

平成 29 年 12 月 6 日に開催しましたモデル組合認定審査委員会において 2 組合（徳島県中古自動車販売商工組合、徳島県室内装飾事業協同組合）がモデル組合として認定され、同組合に対し、モデル組合認定証及び楯を贈呈いたしました。



徳島県中古自動車販売商工組合



徳島県室内装飾事業協同組合

平成 29 年度 “モデル組合” を紹介します！

モデル組合として認定された事例を紹介しますので、事業運営や組織運営の参考にして下さい。また、本会ホームページにモデル組合事例集として掲載することとしております。

徳島県中古自動車販売商工組合

住 所：徳島市応神町応神産業団地 1 番 13

理事長：多田 勇夫 設立年月日：昭和 63 年 7 月 19 日

主たる業種：中古自動車小売業 組合員数：43 名

<評価されたポイント>

- ・昭和 63 年より組合員から集めた募金を交通遺児らに寄付する活動を続けており、また近年では徳島の盲導犬を育てる会へも寄付をしている。
- ・クリーンキャンペーンとして清掃と社会奉仕の精神を養うことを目的として、組合員店舗付近の清掃にも取り組むことで、地域社会に貢献する活動を幅広く行っている。
- ・近年は、平成 15 年には使用済み自動車の適正処理に向けた自動車リサイクル法について組合員に周知するなど地球環境問題にも取り組み、その後インターネットを通じた中古車販売の推進など時代の流れに沿った事業を行っている。
- ・現在では、特に指導教育に関する事業に積極的に取り組み、古物管理者講習会を毎年開催している。また、優良古物商顕彰販売店の推薦、不正改造車排除運動、走行距離適正表示推進を実施し、自動車によるより良い社会の形成に力を入れている。

徳島県室内装飾事業協同組合

住 所：徳島市南田宮 2 丁目 3-114

理事長：織原 弘明 設立年月日：昭和 49 年 11 月 27 日

主たる業種：室内装飾工事業又は室内装飾品小売業 組合員数：35 名

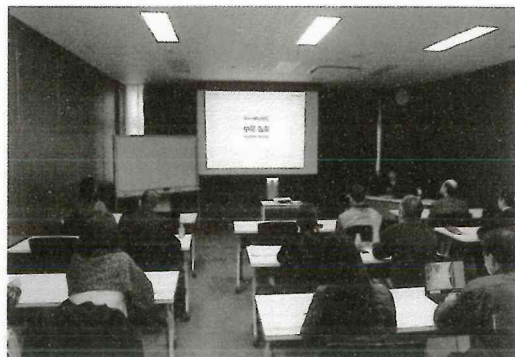
<評価されたポイント>

- ・組合組織の基盤強化を図るため、6つの担当制（総務、防災ラベル、厚生、教育情報、技能推進、広報）を導入し、組合への参加意識、協調性の高揚を図っている。
- ・教育情報事業が活発であり、昨年は 9 回技術講習会等の研修を企画・実施している。毎年の新年互礼会時に講習会も合わせて開催する他、防火壁装認定講習会・防災業務講習会、インテリアデコレーター（内装士）研修会、ふすま、障子張替え講習会等を実施し、組合員の技能養成に努めている。
- ・昭和 59 年 7 月から組合としてボランティア事業を実施している。毎年 3～6 施設で壁や床などの修繕活動が無償で実施しており、昨年度は 5 施設の修繕活動を実施し、組合員 15 企業が参加した。このようなボランティア活動は、組合員が施工技術を切磋琢磨する場にもなっており、組合員の技術力の向上につながっている。
- ・室内装飾業についての児童の理解を深めるため、県内小学校を対象に出前授業を実施し、タイルカーペットの施行について実演している。

パソコン研修会開催

平成 29 年 12 月 4 日(月)午後 1 時 30 分より、徳島経済産業会館において、「ホームページや SNS を自社の味方に!!」をテーマに、パソコン研修会を開催しました。近年 SNS は企業にとって新しい顧客獲得、サービスの発見に繋がる大きな武器になりえるが、十分に使いこなせている企業は少なく、販路開拓に繋がっていないのが現状です。その現状を踏まえ、ホームページや SNS の活用について、知っておきたい知識や即実践できる技術を学ぶことで、自社を効果的に PR し、集客や売上に繋げることを目的に開催いたしました。

Web 制作会社 Sunnyday Labo 代表の中尾弘美氏を講師に迎え、web メディア（ホームページや SNS）の有効的な活用方法及び好事例が伝えられました。後半は、戦略的な情報発信の仕方について、参加者と講師間で活発な意見交換がなされました。参加者からは「今一番興味があり、知りたい内容だった」「タイムリーですぐに役立つ知識を得られた」などの声が聞かれ、有意義な研修会となりました。



パソコン研修会

組合管理者講習会開催

平成 30 年 2 月 13 日(火)午後 1 時 30 分より、徳島経済産業会館において、「組合の決算・税務手続」をテーマに、組合管理者講習会を開催しました。同講習会は、決算期の迫ったこの時期に、正しい組合の会計知識を身につけてもらおうと毎年開催しております。

公認会計士の後藤吾郎氏から、期末における決算手続きを重点に、経理処理のポイント並びに決算関係書類の書式について解説がありました。また、平成 29 年の各種税制改正や事業承継について詳しく説明され、参加者は熱心に聴講されておりました。その後、参加者からの個別相談に対応し、閉会となりました。



組合管理者講習会

環境経営セミナー開催

平成 30 年 1 月 26 日(金)と 2 月 27 日(火)の計 2 回、いずれも午後 1 時 30 分より、徳島グランヴィリオホテルにおいて環境経営セミナーを開催しました。第 1 回目はエコアクション 21 審査人の森本輝実氏から「EA ガイドライン 2017 年版の改訂のポイント」についての講習があり、製造・サービス業の方々を中心にご参加頂きました。第 2 回目はエコアクション 21 審査人の濱川泰博氏から「社員が誇れる企業になる環境経営」について講演を頂き、ご参加頂いた方からは「具体的で参考になる内容だった。自社でも少しずつ取り入れたい」など、有り難いお言葉を頂きました。



環境経営セミナー

日本全国 名城めぐり

犬山城

所在地：愛知県犬山市犬山北古券 65-2
築城種類：平山城／築城年代：天文6年（1537）
築城者：織田信康
天守の現況・形態：望楼型 三重四階地下 二階木造（現存）

犬山城は、天文6年（1537）、織田信長の叔父である信康が木曾川沿いの標高88mの丘陵上に築城したのが始まりとされ、日本最古の現存天守閣で、背後を断崖に守られた典型的な後堅固の城です。

尾張と美濃の国境に位置するため、国盗りの要所となり、戦国時代、城主はめまぐるしく変わりました。江戸時代に入ると、尾張藩付家老の成瀬正成が城主となり、以後、明治を迎えるまで9代にわたって成瀬家が城主をつとめました。

明治4年（1871）廃藩置県で愛知県の所有となり、天守以外のほとんどの建物が取り壊されました。明治24年（1891）、「濃尾大地震」によって天守が大きな被害に会い、修復を条件として県から旧藩主の成瀬家に譲与され、平成16年（2004）、「財団法人犬山城白帝文庫」に移管されるまで、日本で唯一の個人所有の城として知られていました。

犬山城の見どころは、国宝天守です。天守は二重櫓の上に望楼（遠くを見渡す櫓）を載せた典型的な望楼型天守であり、望楼の高欄とその下にある唐破風が特徴的な意匠となっています。

最上階まで登れば廻縁をぐるっと一周歩いて、木曾川を見下ろし、濃尾平野を一望することができます。天気の良い日には、岐阜城をはじめ名古屋城や小牧城を臨むこともできます。廻縁への出入口の左右にある花頭窓は木組で作られた装飾用の窓枠で、犬山城をより一層印象付けています。

（崇）



映画の 日々

「プリズナース」

2014年日本公開／上映時間：2時間33分

監督：ドゥニ・ヴィルヌーヴ

出演者：ヒュー・ジャックマン、ジェイク・ギレンホール、ポール・ダノ 他



少女の失踪事件を描いたサスペンス映画。

少女の父親役をヒュー・ジャックマン、事件担当のロキ刑事役をジェイク・ギレンホールが演じ、他にも素晴らしい俳優陣が集結、緊迫した話の展開で観る人を夢中にさせる魅力ある作品です。

幸せな家族、突然愛する娘が行方不明になる恐怖！娘を探しまくる父ヒュー・ジャックマン！そして娘を心配しすぎるあまりどんどん暴走していきます。

ミステリー映画として凄く緊迫感もあり、最高に面白いんですが、私が何よりハマったのは、孤独な苦悩するジェイク・ギレンホールの姿です！

是非是非多くの方々に観てほしい映画です！

（典）

何かとストレスの多いこのご時世。職場や家庭で居づらさ生きづらさを感じている方も多いかもしれません。

このコーナーでは、そんなあなたのために、筆者がコミュニケーション心理学の一つである NLP (神経言語プログラミング) で学んだことを通して、日常生活を少しでも楽に過ごすためのコツをわかりやすくお伝えしていきたいと思っています。

今回のテーマは

「チャンクを意識して、コミュニケーションを円滑に②」

前回のこのコーナーでは、「チャンク」についてお伝えしました。まずは、チャンクについておさらいしておきましょう。このイラストを見てください。これはなんでしょう？



おそらく多くの方が「お茶」と答えたのではないでしょう。もちろん「緑茶」と答えてもいいですし、「飲み物」と答えても間違いではありません。この答え方にその人に認識の仕方が現れています。

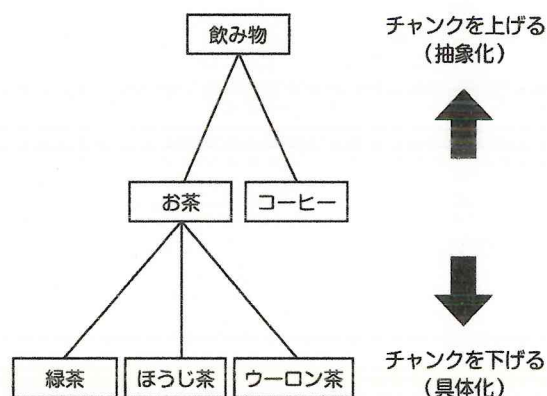
つまり、私たちは物事を認識するときに、いくつかのカテゴリーに分類し、無意識のうちに自分にとって適切なカテゴリーを選択しています。そのカテゴリーのことをチャンクと言います。あるときは大きいチャンクで、あるときは小さなチャンクで物事を区別しています。

チャンクは上げると、物事が抽象的になり、下げると具体的になるという効果があります。ですので、コミュニケーションの中で、今、相手がどのチャンクで物事を認識しているかを感じることはとても重要なことなのです。

前回は相手とのコミュニケーションエラーを少なくするために、チャンクを下げて、他との区別や差異をより細かく伝えましょうとお伝えしましたが、今回はチャンクを上げることのメリットについて考えてみましょう。

例えば、「あのレストランの肉料理が美味しいよね。」というよりは「あのレストラン、美味しいね」と言った方が、相手と共感しやすいですよ。

同じ料理を食べても、美味しいと感じる部分は人それぞれ違いますし、より高いチャンクで話した方が伝わりやすく、共感もしやすいと思いますし、より多くの人と



意思の疎通が図れます。相手のことをそれほど知らなくても話が合わせやすくなります。

また、チャンクを上げることで、言葉に含まれていない部分が多くなるので、その部分を相手が想起します。

例えば、職場で上司から「リーダーシップを発揮してくれ」と言われたとします。みなさんならどう思いますか？「リーダーシップ」という言葉の抽象度が高いので解釈の幅が広がります。細かい指示が出されることを窮屈に感じる人なら、このようなチャンクの高い指示は自由度や裁量の範囲が増したと感じて、伸び伸び仕事ができるかもしれません。

しかし、その一方で「リーダーシップ」という言葉のチャンクが高すぎて、何をしたいのかわからず戸惑う人もいるかもしれません。「部下にどんどん指示を出して引っ張っていくことなのか」それとも「皆の意見を聞いてそれをまとめながら進めていくことなのか」チャンクを下げて具体的な表現で指示をされた方が動きやすい人もいるでしょう。

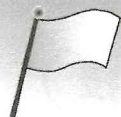
いずれにせよ、正解があるわけではないので、チャンクを上げたり下げたりしながら、どの伝え方が効果的か試してみてください。

今あなたはどんなチャンクで話をしていますか？また、相手はどんなチャンクで話していますか？そのあたりを意識すれば、より意思の疎通がスムーズになるでしょう。

(M)



お知らせコーナー



平成 29 年度補正

「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援事業」のご案内

【公募期間】平成 30 年 2 月 28 日（水）～ 4 月 27 日（金）[当日消印有効]

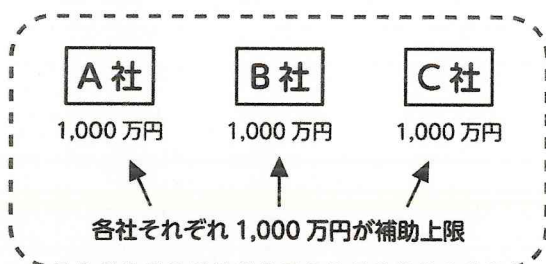
平成 20 年 6 月中を目処に採択公表を行う予定です。2 次公募を行う予定ですが、開始時期・実施内容については未定です。

1. 企業間データ活用型（補助上限額：1,000 万円 / 者※、補助率 2/3）

複数の中小企業・小規模事業者が、事業者間でデータ・情報を共有し、連携体全体として新たな付加価値の創造や生産性の向上を図るプロジェクトを支援します。

（例）データ等を共有・活用して、受発注、生産管理等を行って、連携体が共同して新たな製品を製造したり、地域を越えた柔軟な供給網の確立等により連携体が共同して新たなサービス提供を行う取組みなど
※連携体は 10 者まで。さらに 200 万円×連携体参加数を上限に連携体内で配分可能

【3 社連携の場合】



200 万円×連携体参加者数(3 社) = 600 万円

連携体内で配分可能



2. 一般型（補助上限額：1,000 万円、補助率 1/2）※

中小企業・小規模事業者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善に必要な設備投資等を支援します。

※平成 30 年通常国会提出予定の生産性向上の実現のための臨時措置法（仮称）に基づく先端設備等導入計画（仮称）の認定または、経営革新計画の承認を取得して一定の要件を満たす者は、補助率 2/3

Point!

昨年までとは異なり、補助率は 1/2 です。
ただし、経営革新計画等の認定（平成 29 年 12 月 22 日以降に新規申請されたもの）を受けることにより、補助率は 2/3 に上がります。

3. 小規模型（補助上限額：500 万円、補助率：小規模事業者 2/3、その他 1/2）

小規模な額で中小企業・小規模事業者が行う革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を支援します。（設備投資を伴わない試作開発等も支援）

※専門家を活用する場合、補助上限 30 万円アップ（1～3 共通）

Point!

専門家を活用することで、すべての事業型で補助金上限額が 30 万円アップ します。

【要領等（詳細）】 本会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

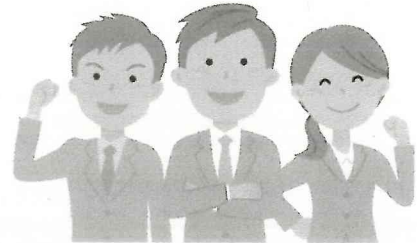
<http://www.tkc.or.jp/mndkr/h29/>

組織の生産性向上のために
オーダーメイドで社員教育をしませんか？

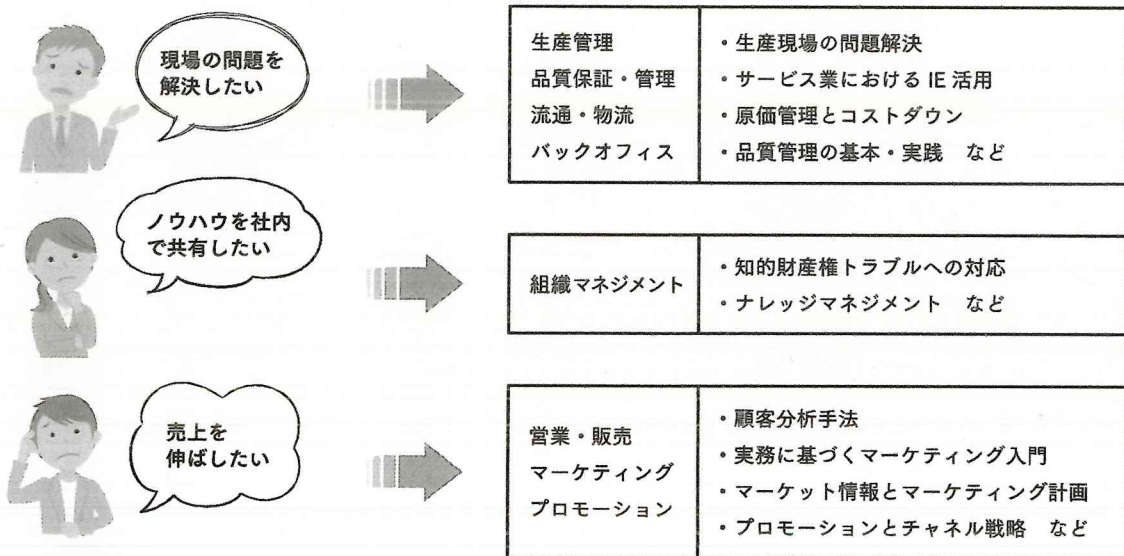


生産性向上支援訓練のご案内

「生産性向上支援訓練」とは、企業の生産性向上に係る課題解決のための知識やスキルを習得するための訓練です。
新任層から管理者層まで、幅広い階層に対するカリキュラムモデルの中から、お客様に最適なカリキュラムをご提案し、お客様の生産性向上のための課題解決のお手伝いをいたします。ものづくり分野を中心とした在職者訓練と併せて、生産性向上支援訓練の活用もご検討ください。



こんな悩みがございましたら是非ご相談くださいませ。
お客様のご要望にあった研修をご提案させていただきます。



○ 訓練について

日程・時間	訓練時間は、6 時間～30 時間。夜間や土日の訓練の設定も可能です。
会 場	お客様の自社会議室や外部の施設など、ご要望に合わせて設定できます。
講 師	専門的な技能やノウハウを持つ民間機関等 (※大学教員や中小企業診断士等) が訓練を担当します。

○ 訓練時間が 10 時間以上の場合人材開発支援助成金の活用対象訓練となります。
※補助金の受給にはさまざまな要件を満たす必要があります。

お問い合わせ ポリテクセンター徳島
生産性向上人材育成支援センター

TEL:088-654-5102 FAX:088-654-5103
TEL:088-655-3712 FAX:088-654-3390 MAIL: tokushima-seisan@jeed.or.jp

どんなことでも結構です！
お問い合わせください！



編集 後記

◆第146号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

◆特集では、「四国の元気な組合」を紹介させていただきました。今後の組合運営に役立てて頂ければ幸いです。ご不明な点等がありましたら、お気軽に中央会までお問い合わせ下さい。

◆「ものづくりの達人」では、株式会社栄工製作所様を訪問させていただきました。同社はステンレス鋼材の一貫加工をメインに、お客様からの要望や願いを形にする「付加価値の高いものづくり」を実現されています。創業当時から、人と人との繋がりを大切に、変化し続ける顧客のニーズを的確に捉え、丁寧で柔軟な対応を続けられており、その姿勢が顧客の大きな信頼に繋がっていると感じました。また、こだわりや思いがたくさん詰まった「和あさん」のうどんも大変美味しく、心と体に染み渡りました。この度は貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

◆先日、神山町で薪割り体験をしてきました。太い丸太を割るのはひと苦労でしたが、スパンと真っ二つに割れた時の爽快感はやみつきになりました。薪は全て神山の間伐材。神山町では30年前と比べ川の水量が約3割に減っており、川の水を増やすために、過密になってしまった杉を切り、山肌に光が届くようにすることが大切だと教えてくれました。間伐材の伐採＆活用は川の水を守ることに繋がり、たとえ小さな活動でもひとつひとつ積み重ねることで未来を少しでも変えて行こうという思いに触れ、素敵な取り組みだと感じました。

vol. 04

平成29年度 第4号
(年間4回発行 通巻第146号)

組合活性化情報 中央会とくしま



袋井用水の桜 水彩画/布川 嘉樹